

表2 「〈生〉の三契機」とその諸相

	起点	定義	生活との関連性
〈生存〉の実現	生命性	人間が生物学的基盤を持つもの、生命体であることの宿命として、〈生活世界〉という場において、必要物を確保し、そのための素材の加工や道具の製作、知識の集積などを行っていくこと	「暮らしとしての生活」の基盤をなすもの
〈現実存在〉の実現	社会性	人間が他者ととともに〈生〉を営むという本質的特性を持つことの宿命として、〈生活世界〉という場において、集団の一員としての自己を形成し、また構成員との間で情報を共有し、信頼を構築し、集団としての意志決定や役割分担を行っていくこと(「受動的社会化」と「能動的社会化」を含む)	「暮らしとしての生活」があつたうえでの「精神としての生活」に結びつくもの
〈継承〉の実現	歴史性	人間がひとつの生命体として必然的に死を迎えるという宿命によって、〈生活世界〉を通じて自らが前世代から受け継いだものを、改良しつつ、再び次世代へと引き渡ししていくこと	「暮らしとしての生活」にも「精神としての生活」にも還元できない時間の概念が含まれる